

シニア情報ボランティア

高齢者ICT利用支援現場からの報告と提案

ICT地域活性化懇談会（第2回）

総務省

老テク研究会事務局長
モバイルシニアネットプロジェクトコーディネーター
東京大学先端科学技術研究センター人間支援工学分野交流研究員
近藤則子

2011年4月28日

老テク研究会（1992 - ）

老テクとは老人を助けるテクノロジー

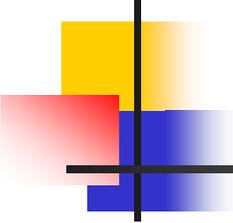


介護力は情報力 笑顔で介護！

できれば介護されない人生をめざそう！

左 健康福祉センターの楽しいケータイ教室 右 介護家庭とネットイベント

老テク研究会 All Rights Reserved



本日の内容

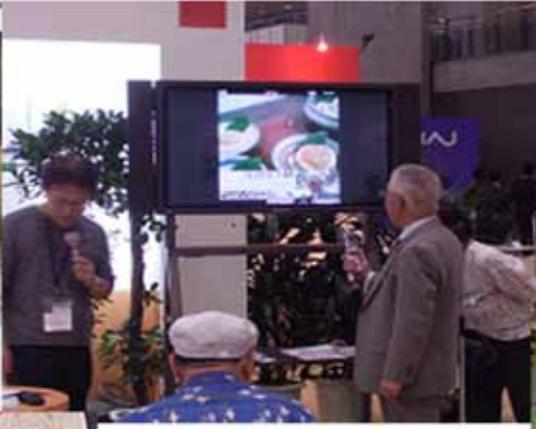
- 1 高齢者とICTの現状と課題
シニアとICT 2011 調査結果から抜粋
- 2 モバイルシニアネットプロジェクト報告
- 3 シニア情報ボランティア活動発展に
行政・ICT企業へのご提案

I C Tで自立、社会参加支援、認知症予防

老テク研究会が企画、運営、実施した高齢者・障害者への主なI C T利用支援活動

- 1994年 米国NPO WID世界障害者研 (World Institute on Disability) デボラ・カプラン副理事長招聘
- 1995年 米国NPO「SeniorNet」 ルース・ギャレット博士 (老年学・教育学) 招聘
- 1996年 韓国老人IT利用支援団体「元老坊」ユ・キョンヒ氏、チョン・キュソク氏 (情報通信省元事務次官) 招聘
- 1997年 深川郵便局でシニアの無料パソコン・インターネット講習会開始 仙台中央郵便局情報ひろば開始
江東シニアネットクラブ発足 60歳から楽しむパソコン・インターネットテキスト公開
- 1998年 仙台シニアネットクラブ発足 米国の「CompuMentor」ベン・ホリン理事長 招聘
- 1999年 国際電脳七夕祭り開催 仙台を拠点に中国と国内8ヶ所のシニアネットのつどい 米国から招聘
- 2001年 インパク仙台市パピリオンでシニア・パソコン・ボランティアを支援する「仙台学舎」から情報発信
IT講習会で全国に発足した全国のシニアネット活動支援
松本シニアネットクラブ、江戸川ふれあいネット 沖縄ハイサイネット発足 WPCシニアゾーン出展
- 2002年 東京世田谷区のNPOと連携し、ケータイで介護予防講座開始
- 2004年 米国NPO ICDRI (International Center for Disability Resources on Internet)
シンシア・ワデル代表理事招聘 ウェブアクセシビリティ Growing Digital Divide 翻訳
- 2005年 グローバルシニアネットのつどい 米国・韓国から招聘 (早大国際会議場井深ホール)
- 2006年 企業 (NTTドコモ) や行政 (社会福祉協議会、教育委員会) 民間、NPOの
パソコン教室と連携した無料携帯電話講習会 モバイルシニアネットニフティ防災グランプリ
「いきいきシニアケータイセミナー」全国60ヶ所以上で開催
- 2007年 高齢者のための地デジ講習会開始 CEATECアクセシビリティプラザ出展協力
- 2008年 総務省、国税庁と「e-Tax利用支援講習会」全国36ヶ所で開催
- 2009年 高齢者むけ地デジアニメ、ちでじか小唄公開 服部真湖さんと地デジ音頭踊り紹介
- 2010年 超高齢社会の電子政府・電子自治体を考えるシンポジウム (東大安田講堂) 韓国国税庁招聘
(財)福祉医療機構助成によりモバイルシニアネット講習会全国で開催
楽しいケータイ活用術テキスト公開 大阪 仙台 米沢 横浜 東京で 地デジセミナー
- 2011年 3月3日 モバイルシニアネットシンポジウム開催 (東大安田講堂) 中国の子供たちと電脳雑祭り
- 4月 京都、大阪の女性たちとICT (PC ケータイ、テレビ、iPad) を活用した認知症予防プロジェクト開始

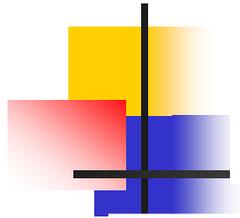
シニアICTイベント



CEATECシニアイベント
松本民芸館と交流
画像は収蔵骨董品とデザート

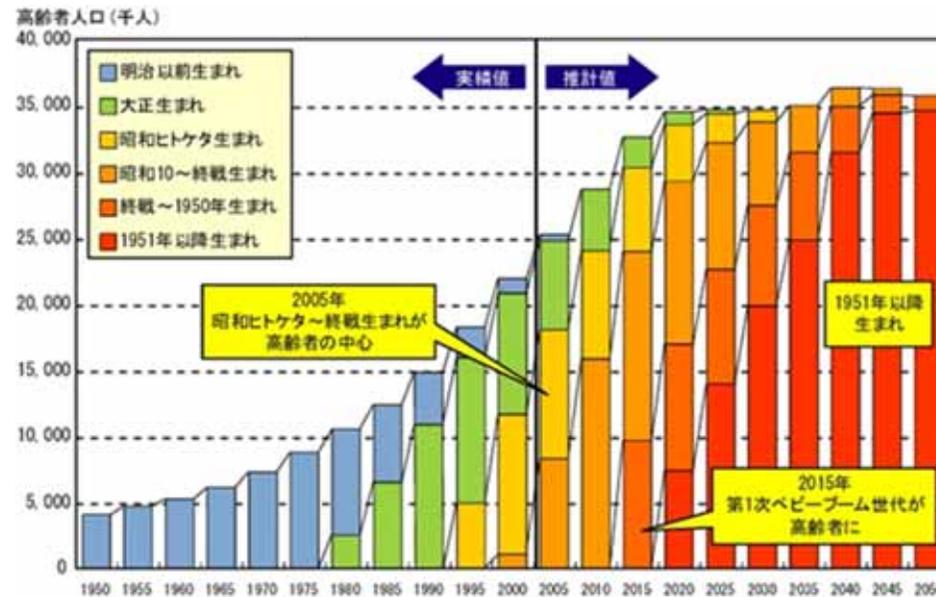


米国シニアネットのドロシーさんを招いて、仙台と沖縄で電腦七夕祭り
せんだいメディアテーク (2001年)



人類初の超高齢社会・日本

2015年に団塊の世代(240万人)が65歳以上に
2025年には、日本人の3人にひとり、3500万
2050年まで、世界中で高齢者は増え続ける見込



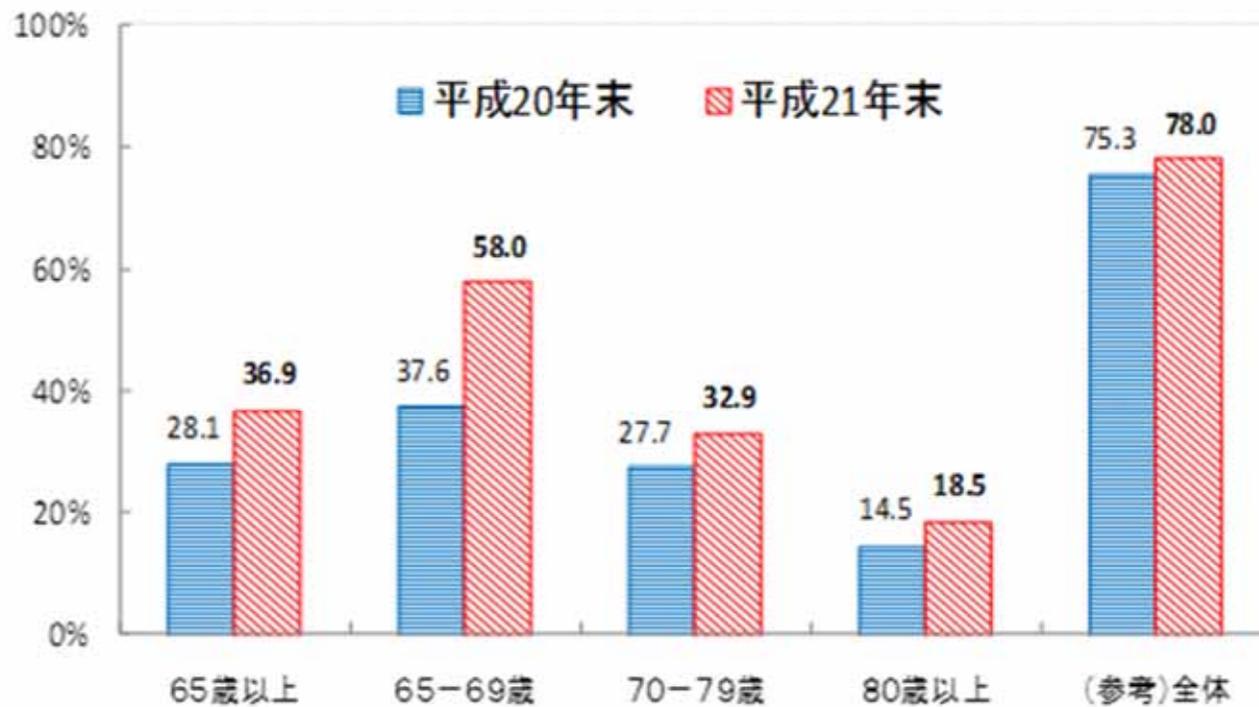
出典: アサヒグローバルサイト

<http://www.asahiglobal.com/mansion/goldage/increase.html>2000年までは総務省統計局「国勢調査」、2005年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成14年1月)」

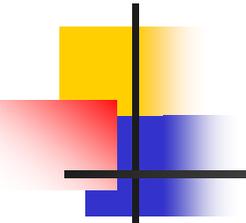
老テク研究会 All Rights Reserved

広がる情報格差

高齢者のネット利用は増えているが、



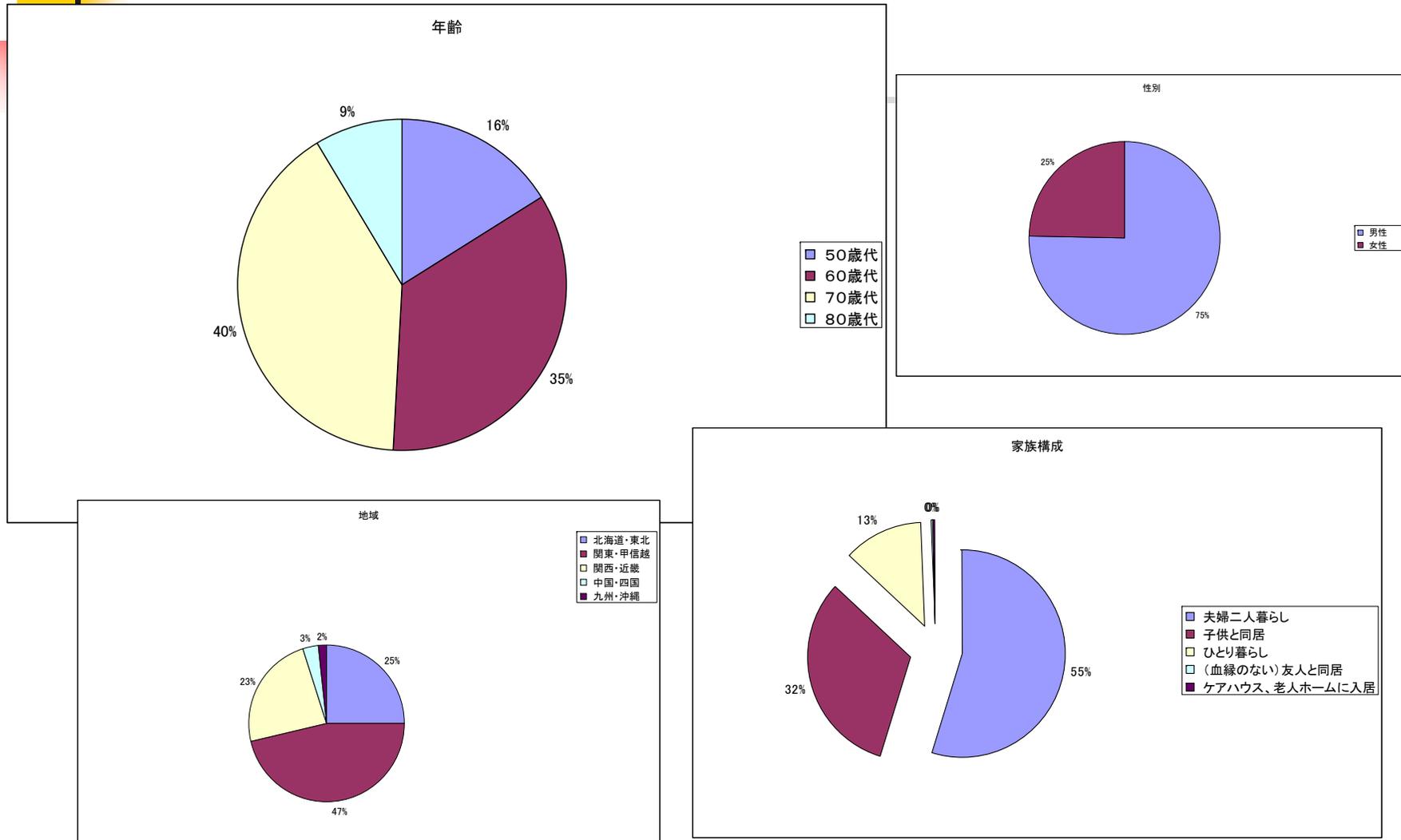
総務省情報通信白書より



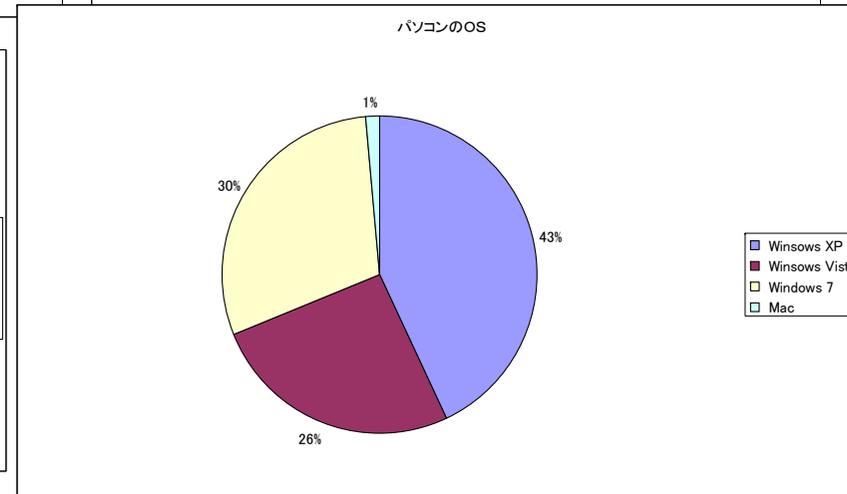
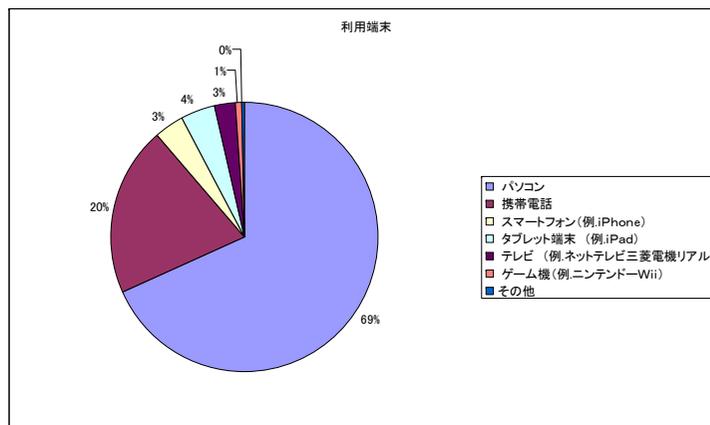
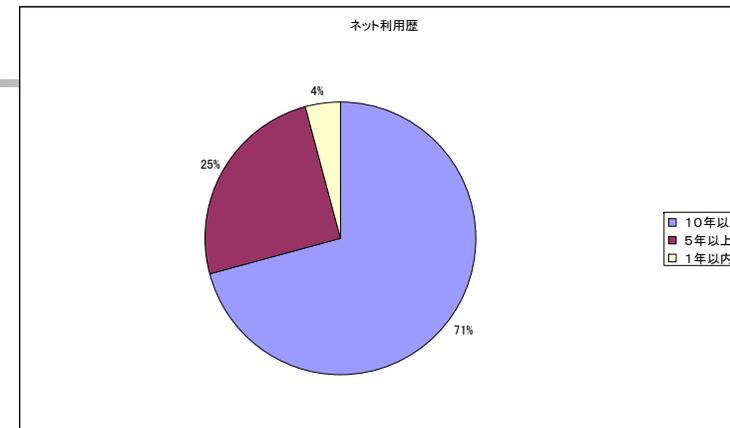
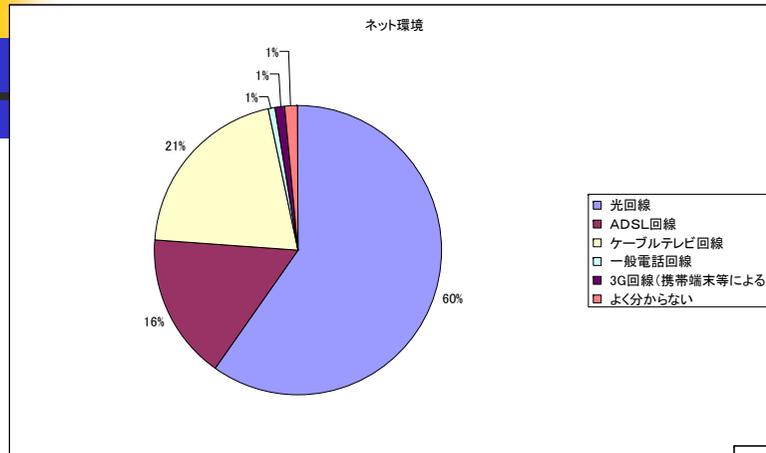
第2回 シニアとICT調査

- シニアネットを主たる対象にネット調査
<http://homepage3.nifty.com/ICSProject/>
- テーマ
シニアはICTの何に困っているの？
- 50歳以上 340名が回答
(男性 75% 60代以上 84%)

回答者（340名）のプロフィール



光6割、最新OS3割 利用歴10年以上7割



ネットショッピング利用拡大

- 前回（2006年）
調査より増加
http://homepage3.nifty.com/ICSProject/seminar/ICS2006_net.pdf

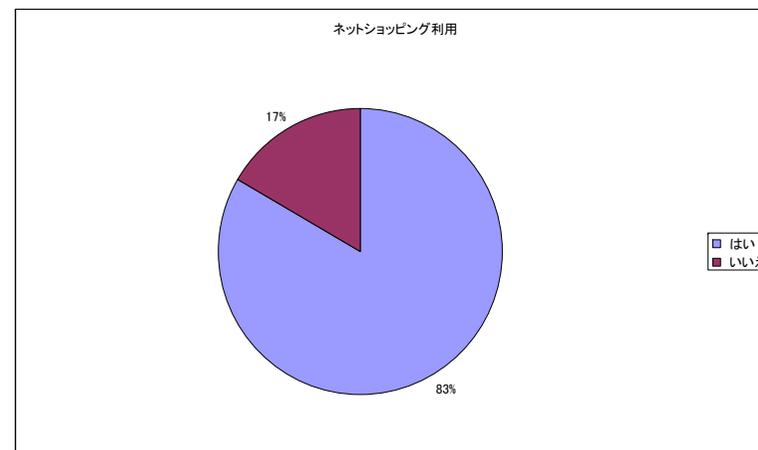
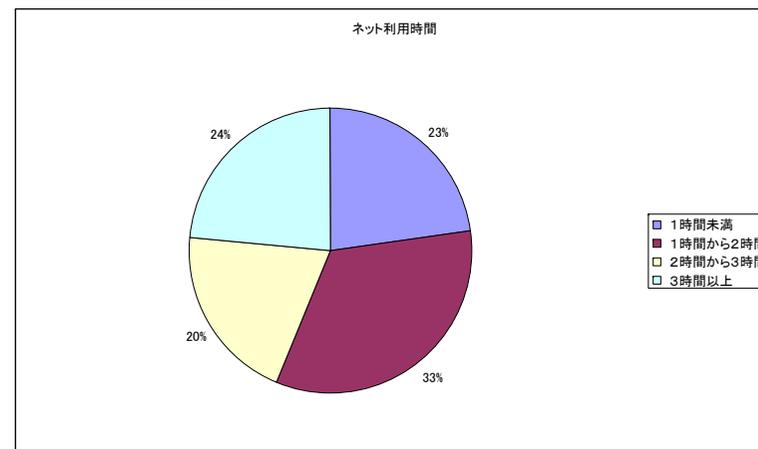
ネット購入

2006年 73%

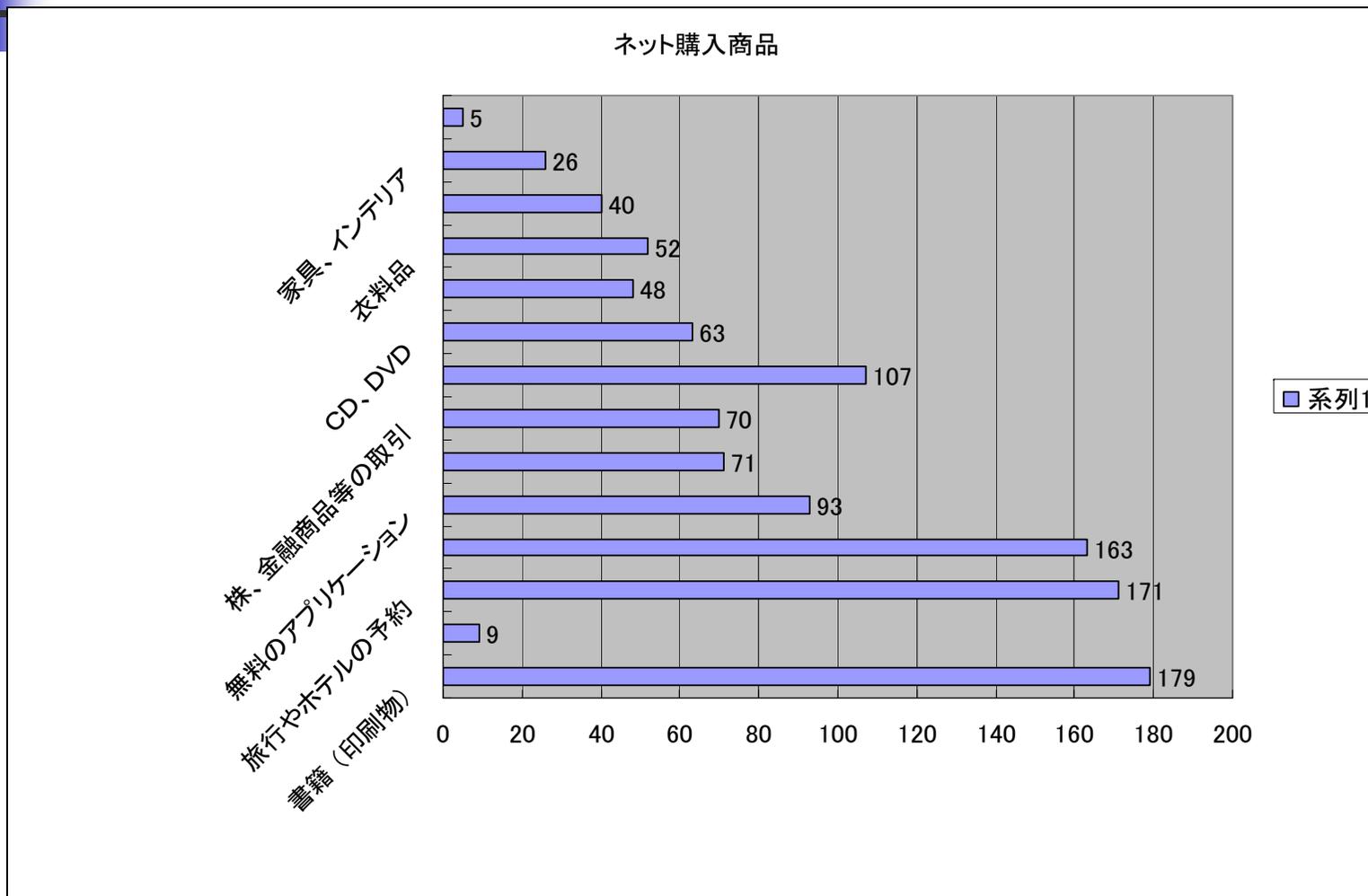
2011年 83%

テレビよりパソコンが
楽しい？

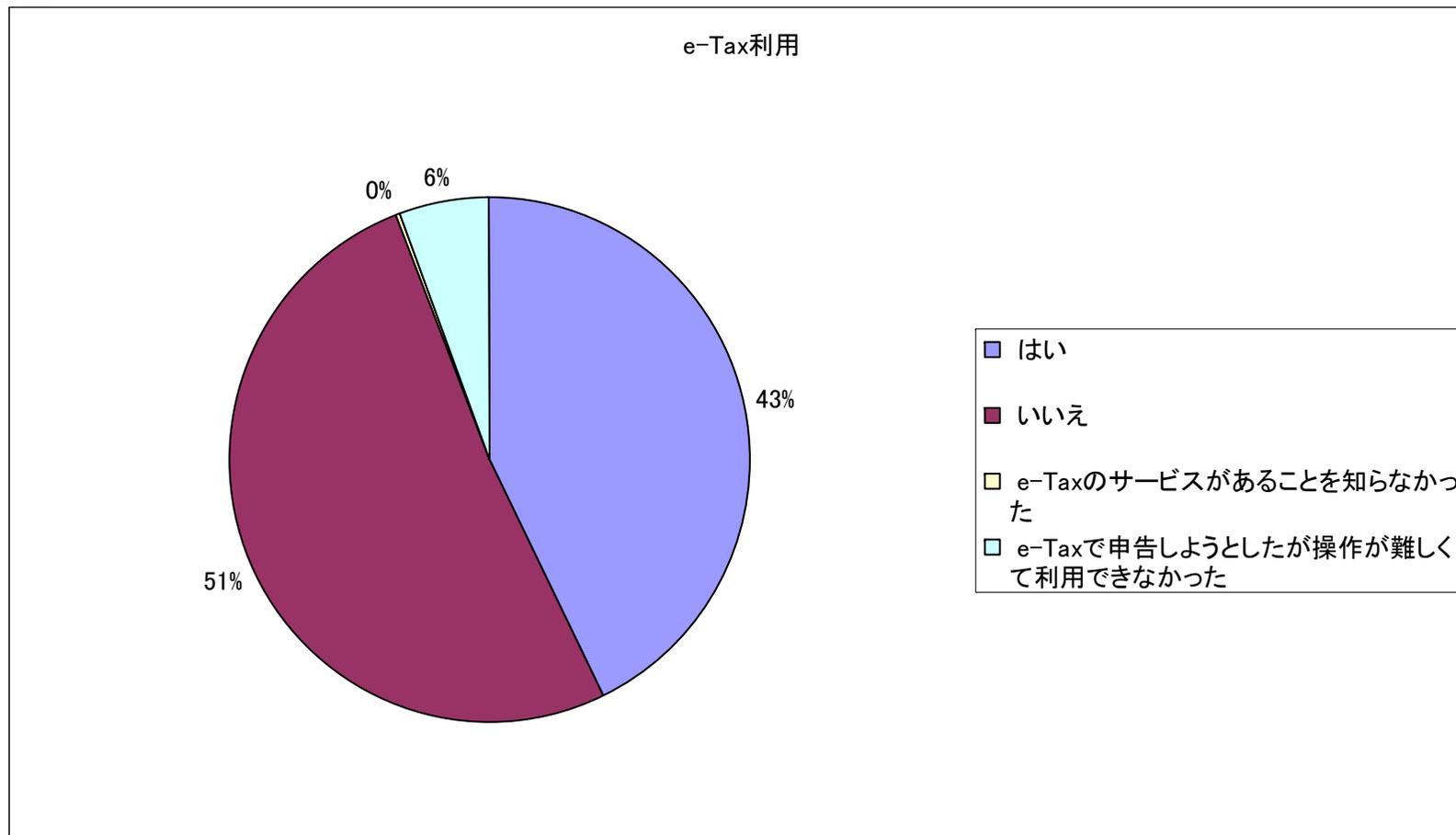
テレビはパソコンで
観ている？



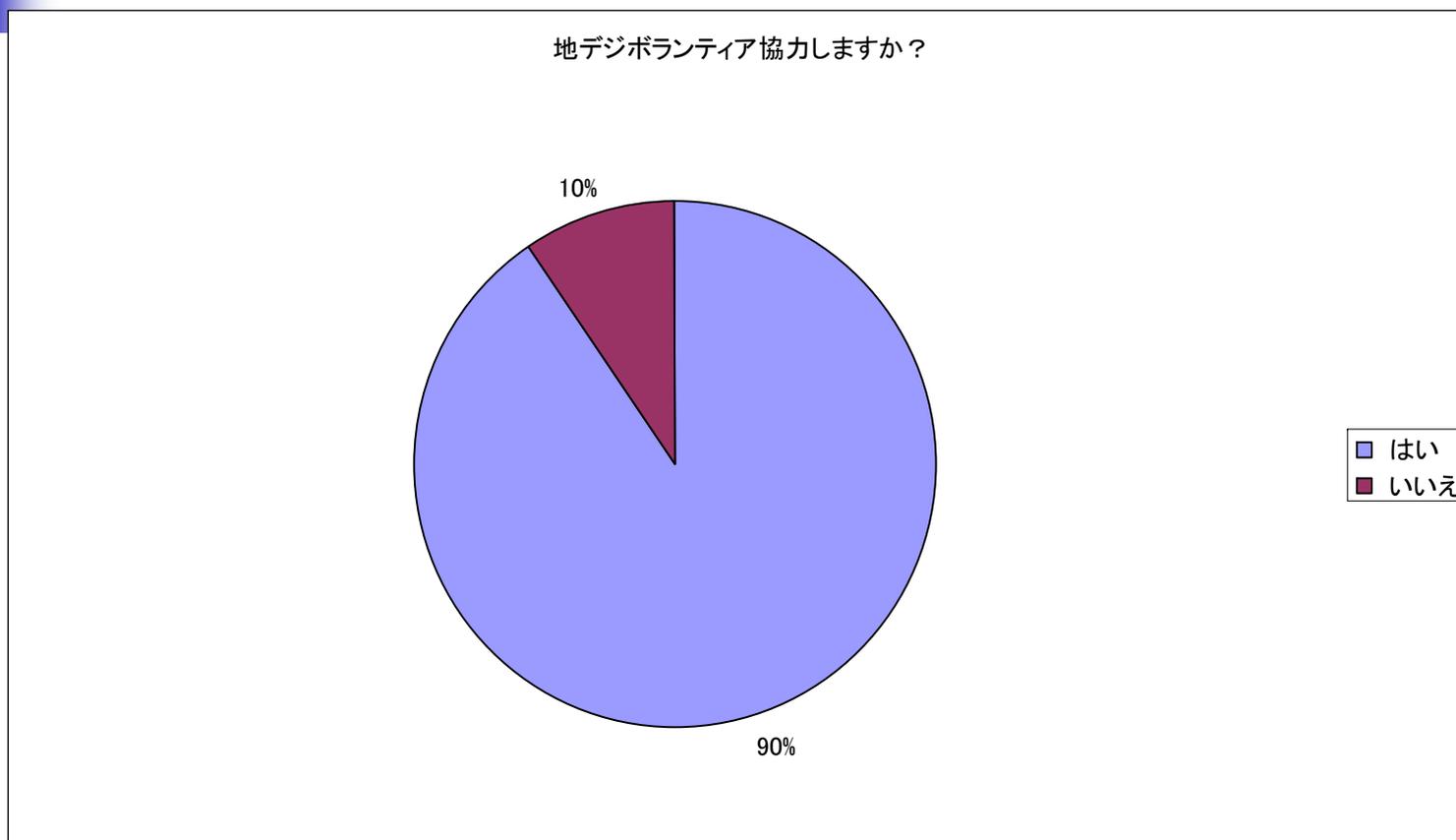
ネットで購入している商品



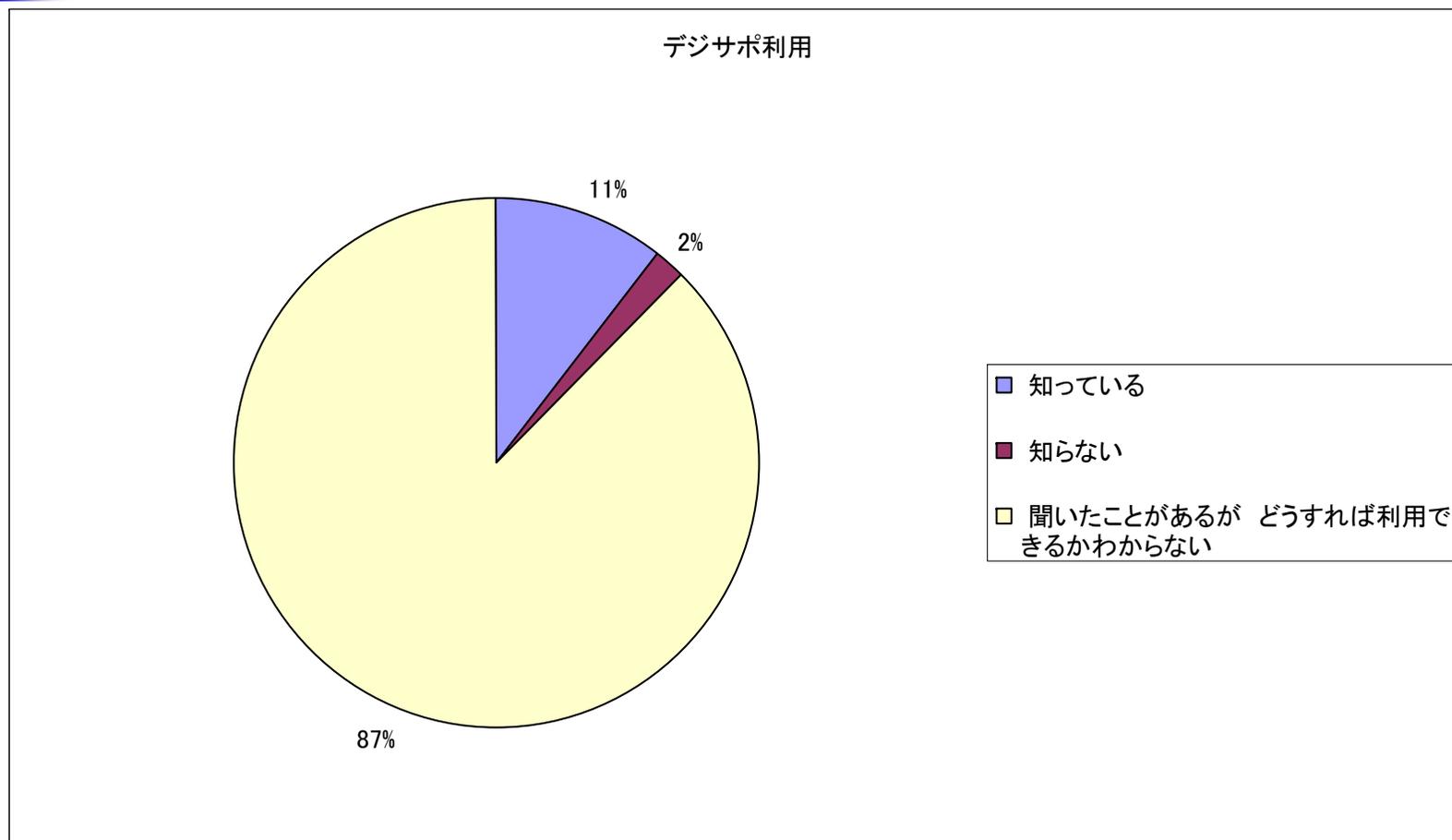
e - T a x を利用しましたか？



地デジボランティアに協力します 9割

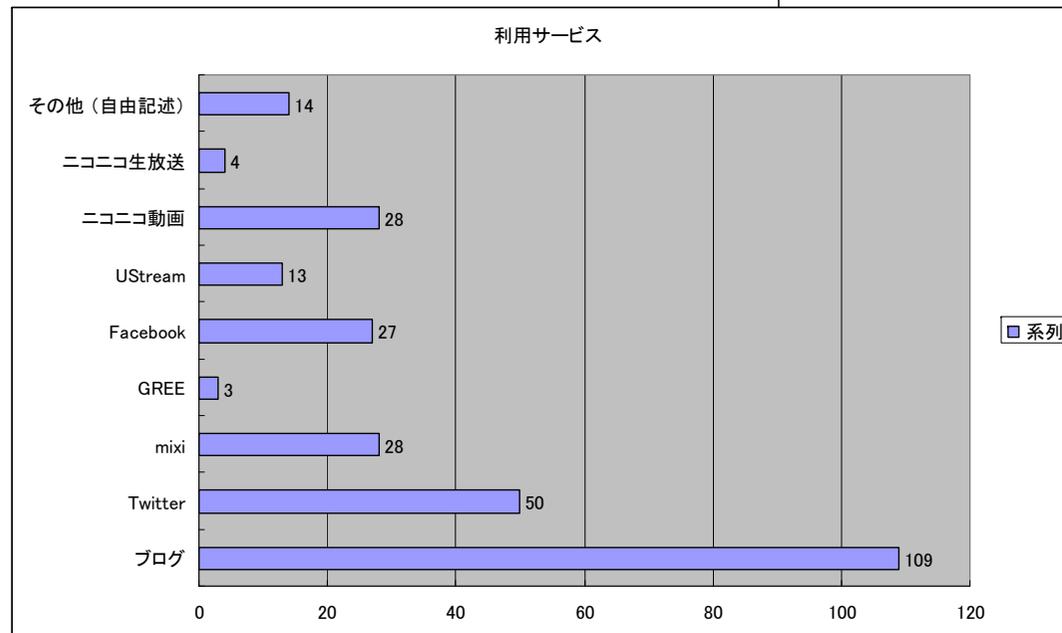
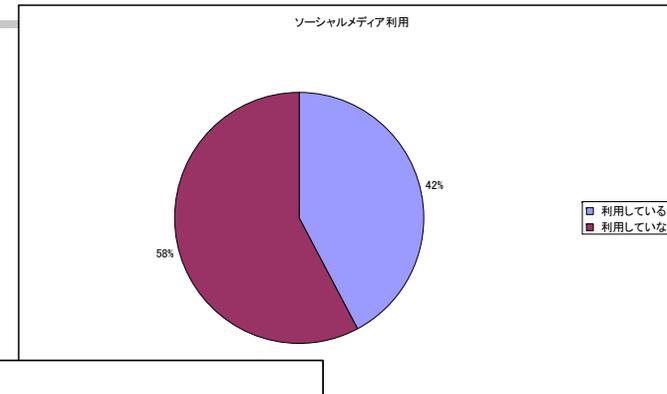


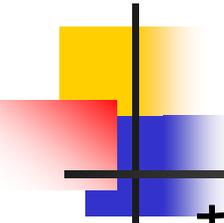
地デジで困ったときのデジサポを知っていますか？



広がるソーシャルメディアの利用

- Twitter 好評
- 動画配信が人気

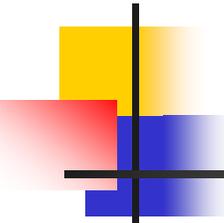




高齢者がICTを利用しない理由

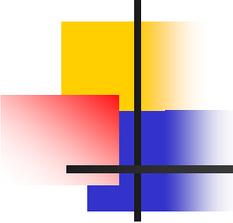
- お金がとても高い（と思っている）
- 自分には使い方が難しくて使えない（と思っている）
- 家族や周囲の人がやめておけという
- 詐欺とか、中傷、デマとかいろいろ怖い
- 機械は苦手だし、面倒くさい
- 今更 始めても 何に使えるかわからない
- ひとりでは始められない。先生がいない。
- 使えなくても、何も困らない（と思っている）

世代間だけではなく 高齢者間のデジタル情報格差が広がっています。



高齢者がICTを使えるメリットとは？

- 高齢者は 地域やネットで友達ができる
最新の知識・情報を手軽に入手
教えることで収入が増える
生活の自立支援に貢献
加齢による障害を補完できる
知的活動が活性化し、認知症予防に有効
- 家族や地域の人とは高齢者と情報共有しやすくなり人間関係の絆が深まる。災害時に特に有用。
- 企業や行政は ネットのサービス利用者が増えることできめ細かなサービスが実現でき、利用者の満足度が向上する。企業は売り上げが増える。



シニアとICTの課題

- シニアがICTを使えなくて困っているのは高齢者と情報共有ができない若い世代やせっかく作った便利な情報サービスを使ってもらえない企業・行政ではないか？
介護予防、認知症予防で医療負担を軽減。
地域で支援できる体制づくりが重要
シニアネットモデル
韓国は自治体で高齢者無料パソコン教室開催
民業圧迫と批判されてもひるまない政府
民間パソコン教室と協働モデルが人気

仙台市の市民協働

地域シニアネットモデル 1997年ー

行政

郵政省（当時）仙台市
仙台市教育委員会
郵便局（当時）
広報支援、会場提供



IT企業

NTT マイクロソフト
NEC デンコー
機器やソフトの寄贈
施設の提供

シニアボランティア団体
仙台シニアネットクラブ
教室運営
講師養成
イベント・セミナーで
普及・啓発活動



郵便局、福祉センター
小学校等での無料パソコン
講習会

地元企業

針生印刷（当時）
シニアボランティアへの
技術支援
ウェブサイト運営
技術サポート

老テク研究会はボランティアコーディネーターを担当

東京 江戸川区「ふれあいネット」 公共施設でICT学習と地域交流を支援



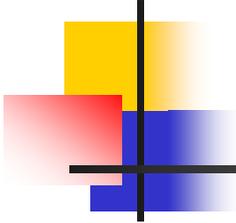
J Rの駅で会員作品展示



地域の多くの公共施設でPC教室

2000年の郵便局の無料パソコン教室講座をきっかけに始まった活動。
公共施設でパソコン教室や親睦会を開催。会員は400名。

写真出典:ふれあいネット <http://homepage1.nifty.com/S-pasokon/>



モバイルシニアネットプロジェクト

- 2010年4月－2011年3月
- 主催 NPOコミュニティリンク
<http://mcis.communitylink.jp/>
- 独立行政法人福祉医療機構による助成（500万）
- 関東、関西でケータイ教室開催
- 受講者 700名超
- テキスト楽しいケータイ活用術 5000ダウンロード
- モバイルシニアネットシンポジウム開催
2011年3月3日 東京大学安田講堂
参加者400名超 メディア新聞4 テレビ（NHK）

楽しいケータイ教室



7つのNPOなどで携帯電話教室開催
東京、千葉、長野、神奈川、京都、
滋賀、大阪、700名超のシニアが参加



イラスト 公開したテキスト「楽しい
ケータイ活用術」より
ダウンロード約5000件

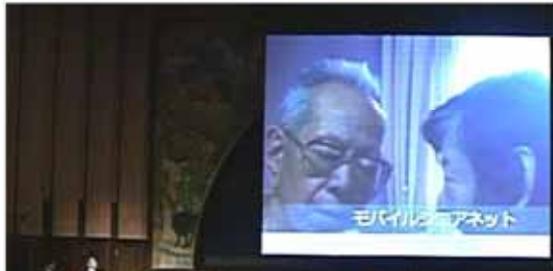
モバイルシニアネットシンポジウム



実行委員長 安田浩先生



パネルディスカッションで話題を呼んだ 世の中デバイド
(メロウ倶楽部 若宮正子さん)



東京大学高齢社会総合研究機構教授辻哲夫先生
と老テクの大島さんが要介護4のお父さん(92)の
家からからネット交流



中国北京の小学生と電腦ひな祭り
会場は地デジボランティアスペシャルアドバイザー
服部真湖さんと東京の小学生

東日本大震災でICTが役に立った例



災害用伝言板で安否確認

ネットで避難所や支援情報入手

救援隊は携帯電話が救命の手がかり

ワンセグ放送で津波を知った



津波に間一髪！新任巡査が40人を誘導、救助
yomiuri onlineより（読売新聞にも掲載）

東日本巨大地震直後の津波では、福島県新地町でJR常磐線の電車が脱線・転覆したが、乗客約40人は津波が押し寄せる直前に逃げ、命を取り留めた。

中略

2人（巡査）はけが人がいないか確認して回る間に、乗客の携帯電話のテレビで大津波警報の発令を知り、「ここは危ない」と判断。乗客に、電車を降り、新地町役場付近の高台を目指すよう呼びかけ、吉村巡査が先導した。

インターネットで災害を知る講座 京都 花パン

〒612-8353
京都市伏見区東町206
TEL.075-612-6099
日・土（午後）祝祭日定休日

講座案内 特徴 地図 活動報告 リンク

現在開催中
★NTT三桑スクール講座
*4月講座ご案内
*5月講座ご案内

★認知症予防講座
伏見会場

★認知症予防講座
（とまち交流館会場）

★認知症予防講座
NTT三桑スクール会場

講座の様子

◆花パン 講座
◆認知症予防講座
◆NTT三桑スクール講座
◆NEC SITS京都養成講座

「花パン」とは
特定非営利活動法人
IoTを共に楽しみながら学んでいきます。また、シニア女性がインストラクターとして活躍できるよう
養成していきます

最新情報
認知症予防講座開講中
（詳細はこちらから）

東北地方太平洋沖地震で被災された皆様へ
このたびの東北地方太平洋沖地震で犠牲とられました方々に謹んで哀悼の意を表します。
また、被災されました皆さまにも心からお見舞いを申し上げます。
各地で避難されている皆様の安全と、一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

花パンではこの度復興支援講座を開講致します
「インターネットで災害を知る講座」
（詳細はこちらから）

ポップン笑句
ポップン笑句とは
可笑しさを表現する17文字
の川柳(笑句/オチ)をムー
ビーで表現したデジタル時
代の新文芸です。
(準備中)

被災地との連携 ウェブ伝言板の使い方

被災地への支援方法 福島の野菜をネットで購入

支援物資の送り方、マッチングサイトなど

災害時に役立つケータイ教室 きんきうえぶ

地域の情報化を支援するという同じような活動に取り組んでいる私たち(モバイルシニアネット)は、全国各地の仲間たちに呼びかけ、仙台シニアネットクラブの活動拠点である公共施設「[せんだいメディアテーク](#)」復興への基金活動を開始することになりました。

講習料は、すべて 各地の活動のとりまとめをしている[IGS研究会](#)(東京)を通じて、仙台シニアネットクラブの会員で家財をなくされた被災者の高齢者や仙台市財政課の寄付口座に [メディアテーク復興支援](#)として送金させていただきます。
1回90分、4人以上で開催が可能です(講習料:1人500円)。

開催のご協力と、皆様の温かい応援をよろしくお願 申し上げます。

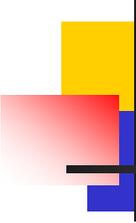
「災害時に役立つケータイ講座」内容予告
▲画像の上でクリックすると次に進みます。

モバイルシニアネットプロジェクト
東日本大震災復興支援
災害時に役立つケータイ講座
NPO法人 きんきうえぶ

- [「お住まい」仙台市太白区にお住まいの依頼行先から被災16日のお礼](#)
- [「災害時に役立つケータイ講座」チラシ](#)
- [「災害時に役立つケータイ講座」開催ご協力のお礼](#)
- [モバイルシニアネットプロジェクトHPへ](#)
- [災害時の携帯電話との付き合い方「利用者ができること」を県民に伝えている](#)

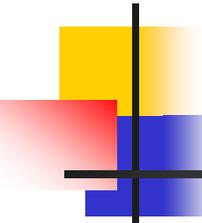


災害時に役立つケータイ教室はシニア情報生活アドバイザー有志により、千葉、東京でも開催。



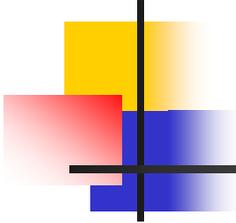
企業・行政にお願いしたいこと

- 1 ICTの無料スキル検定テスト & アンケートサイト
- 2 シニア情報ボランティア活動表彰
認定だけではなく、表彰。感謝状贈呈を！



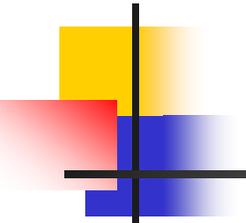
ICTスキルテスト&アンケートとは

- 企業や行政の提供するサービスの活用に初級、中級、上級などのレベルをわけ、そのサービスを知っている、利用できるかオンラインで無料のテストとアンケートを行う。情報提供、啓発、利用促進に有用。
- 例 携帯電話会社はケータイ電話で
企業や行政はパソコンで
合格するとポイントに反映され、携帯電話料金として利用できたり、特典や表彰がある。
- アンケートで習熟率や要望など、利用者の声を受け取ることができる。
- アンケートを実施したい企業から協賛も？
例 横浜市の高齢者1000人に聞きました！



シニア情報ボランティア表彰方法

- 利用者、企業、自治体、国が連携して表彰
- 運営はすべてボランティア（無償）で行う
- 顕彰委員会は幅広い分野の人たちが参加して推薦団体候補をあげ、ネットで投票
- 日本国内だけではなく、海外からも推薦、投票できる。
- 多くの支持を集めた団体や、先進的な事例を表彰 2011年11月1日 安田講堂予約



無理せず あせらず あきらめずに がんばります！
ご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

老テク研究会

